

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン
2021年度第2回理事会議事録

1. 日 時 : 2021年2月7日(日) 10:00~11:55

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル ZoomにてWeb会議

3. 出席者

(1) 本人出席者 11名

大橋健、水野勝教、松原仁、今井俊二、中島晃芳、島谷太、野村泰朗、
森重智年、勝村航太、松山森仁、田中宏明(監事)

(2) 委任状提出者 0名

(3) 理事以外出席者 3名

前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、休場万喜(事務局)

4. 議 事

1. 2020年度事業報告(案)、収支決算(案)
2. 2021年度予算(案)
3. 理事改選について
4. ジャパンオープン2021名古屋大会について
5. 議事録署名人の選定
6. その他

5. 資 料

- | | |
|--------|---------------------|
| 資料1-1. | 2020年度事業報告書(案) |
| 資料1-2. | 2020年度収支決算報告(案) |
| 資料2. | 2021年度予算(案) |
| 資料3. | 2021名古屋レスキュー実施案A, B |

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①大橋代表理事が議長に選出され開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2020年度事業報告(案)、収支決算(案)

①島谷理事より、資料1-1に基づき、2020年度事業報告書(案)および資料1-2に基づき収支決算報告(案)について説明がなされ、承認された。

②田中監事より、2020年度事業報告書および収支決算書を監査した結果、いずれも適正かつ正確であったとの報告がなされた。

(3) 2021年度予算(案)

①島谷理事より、資料2に基づき、2021年度予算(案)について、名古屋大会の開催判断が未定のため、会場開催あるいはオンライン開催する場合の2パターンで予算案を作成した旨説明がなされた。オンライン開催の場合、大会開催準備金として参加登録料の50%を上限に計上すること。また、世界大会はオンライン開催が決定しているため、世界大会出場チーム旅費補助は計上しないことについて、説明がなされ、参加費等については引き続き審議することで承認された。

(4) ジャパンオープン2021名古屋大会について

①大橋代表理事より、名古屋市からジャパンオープンの会場での開催を中止する方向で検討しており、RCJJ単独でのオンライン開催を検討する旨、報告がなされた。

②森重理事より、資料3に基づきオンライン開催時のレスキュー実施案について説明がなされた。課題としては、ブロック毎でのコースの設定と実施、サーバーおよび通信環境の確保、オンラインの運営スタッフの確保が挙げられた。



- ・水野専務理事より、会場での開催が中止となった場合、日程、競技日数の変更の可能性について意見を求めた。特にサッカーはチーム数が多いため、競技日数を増やしてはどうかとの提案がなされた。

- ・中島理事より、世界大会へのエントリーの時期を考慮して、開催する必要があるのではとの意見があった。これに対し野村理事は、エントリーの日程はまだ決定されていないが、例年ジャパンオープンが開催される頃には、他国の選抜チームは決定されており、日程を3月末開催より延期することはあまり好ましくないとの意見がなされた。

- ・森重理事より、世界大会に選抜されたチームの準備期間を考慮すると、ジャパンオープンの延期は好ましくないとの意見がなされた。

- ・水野専務理事より、サッカーは特にチーム数が多いため、WLは3月末、NLはGWまでに開催する案が提案された。

③水野専務理事より、OnStageのオンライン競技方法について確認がなされ、勝村理事より、OnStageは関東ブロックのノウハウを活かし、オープンテクニカルデモンストレーションはビデオ審査、インタビューとパフォーマンスはオンラインで実施することを検討しており、課題としてはオンライン環境の確保があるとの説明がなされた。

- ・中島理事より、OnStageは音楽の著作権問題や、映像や音のチェックなどが課題であるとの意見がなされた。関東ブロックでは参加者から有料の会場を借りたので、会場費を負担して欲しいとの意見もあった。ジャパンオープンの際にこのような費用は開催準備金から支出されるのか確認がなされた。

- ・水野専務理事より、支援金の使用用途の詳細は今後議論する必要があるとの意見がなされた。また、どの配信サービスを利用するかについても、議論が必要であるとの意見もなされた。

- ・野村理事より、Zoomであれば1カ月契約ができ、不特定多数に配信せず少人数の審査員による審査の目的等場面に限れば著作権の問題はクリアできるのではないかととの意見がなされた。

- ・松山理事より、ニコ生であればJASRACの管理楽曲の利用が許諾されており、愛知大会の際にニコ生で配信した実績があるとの意見がなされた。

- ・森重理事より、オンライン開催時の名古屋市の協力体制について、質問がなされた。これに対し、大橋代表理事より、名古屋大会は会場開催を前提としており、オンラインで開催する場合、RCJJ単独での開催になるとの回答がなされた。

- ・大橋代表理事より、Live配信にはこだわらず、アーカイブで映像を閲覧できるようにしてはどうかとの意見がなされた。

- ・松山理事より、オンライン開催時のサッカー選抜方法について説明がなされた。技術委員との間で複数案を検討しているが、チーム数が多いため審査員やスタッフの確保が課題であるとの説明がなされた。

- ・前田事務局長より、ボルドー世界大会に合わせた競技内容で選抜してはどうか、その為国際委員会に競技方法が、いつ頃発表されるのか確認して欲しいとの要望が出され、野村理事から確認することとなった。

- ・大橋代表理事より、ジュニアは実機で準備しているチームが大半であり、世界大会の競技の詳細が発表された後に、世界大会出場の意思確認を行う必要があるとの意見がなされた。

- ・松山理事より、ビデオや資料の提出方法、審査員との共有方法について意見が求められた。

- ・中島理事より、別の大会では、各チームに映像をYouTubeに限定公開してもらい、URLを審査員に提出する方法をとったとの意見がなされた。

- ・大橋代表理事より、Zoomの機能を使えば、チームを小さなグループに分けて審査でき、録画機能もあるので、後に審議が必要となった場合にも活用できるとの意見がなされた。また、水野専務理事より各競技でZoomの必要ライセンス数を検討するよう依頼がなされた。

- ・松山理事より、プレゼンシートのWeb公開方法について質問がなされた。水野専務理事より、他のロボットコンテストでは、Miroというオンラインサービスを使って資料をアップしていたとの意見がなされた。

- ・大橋代表理事より、オンライン開催について各リーグで具体的な方法案を出してもらい、次回理事会で審議したいとの提案がなされた。また各リーグの分散開催について確認がなされ、松山理事より、サッカーはチーム数が多く、スタッフ確保のため、WLとNLの日程を分けて実施する方向で検討したいとの回答がなされた。勝村理事より、OnStageはWLとNLを予定通りの日程で行いたいとの回答がなされた。森重理事より、レスキューも予定通りの日程で出来るとの回答がなされた。

- ・松山理事より、前回理事会で意見が挙がったノベルティー作成について質問がなされた。これに対し、島谷理事より、準備支援金は会場費の補填やスタッフ人件費、通信環境などに使用したい。ただ、初めてのオンライン開催となるのでどのくらいの費用がかかるか分からないので、余裕があれば検討したいとの回答がなされた。

(5) 理事改選について

大橋代表理事より、理事改選について説明がなされ、大橋代表理事、水野専務理事、今井氏、中島氏、島谷氏、野村氏、森重氏、勝村氏(旧姓小山氏)、松山氏、政岡氏を次期理事として、総会に諮ることとなった。松原理事は任期満了で退任することとなった。野村理事より、政岡氏は、ロボカップジュニアの選手および運営にも長年携わり、今後ジュニアジャパンの国際担当として適任であると考え、理事に推薦した旨説明がなされた。尚、理事担務案は新体制の下、次回理事会で検討することとなった。

(6) その他

・森重理事より、レスキューのオンライン開催や今後の動向も踏まえて、サーバーを確保する必要があるため、その費用も予算の管理費に含めて欲しいとの要望がなされた。これに対し島谷理事から、今年度はどのくらい費用が必要か予想できないので、開催準備金の中に含めた上で、来年度には分けて計上したいとの回答があった。

・中島理事より、ホームページでのアナウンス時期について、質問がなされた。大橋代表理事より、名古屋市の発表に合わせて、オンライン開催についての概要が発表できるよう準備を進めることで確認がなされた。

・水野専務理事より、次回理事会の2月21日までに参加枠の確定が出来れば、3月初旬にはエントリーが開始できる旨確認がなされた。

・中島理事より、ブロック大会が行われなかった場合、ビデオ審査実施についての質問がなされた。森重理事より、ビデオ審査は時間的に難しいため、ブロック長の判断に委ねてはとの意見がなされた。2021年度大会では、ブロック大会で競技が行われなかった場合、ビデオ審査は実施せず、推薦はブロック長に一任することとなった。

・今井理事より、新型コロナウイルス等の感染症が冬場に拡大することから、今後の大会開催時期を検討してはどうかとの意見がなされた。松山理事より、関西では学校を中心に参加しているチームもあり、来年度の開催時期を前倒しにするのは難しいのではとの意見がなされた。大橋代表理事より、名古屋市とは3年間の日程と会場で約束を交わしており、これを変更することは困難であるとの回答がなされた。問題提起として今後継続して議論することとなった。

・水野専務理事より、RCJJの収入源について、ノードやブロック大会のエントリー時に、参加費を徴収する仕組みを作ることを、再度検討してはどうかとの意見がなされた。これについて、松山理事より、関西ブロックでは授業の一環としてノード大会を実施しているところもあり、エントリーを有償にするのは難しいのではとの意見がなされた。また、島谷理事より、教材や検定などの仕組みを作る、参加者を広げるためにもNLを1年に複数回開催してはどうかとの意見がなされた。

(7) 議事録署名人の選任

本日の議事録署名人として、松原仁氏、及び野村泰朗氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2021年2月7日

議 長 大橋 健

議事録署名人 松原 仁

同 野村 泰朗

